

参加費は
無料です

地域で育む、 こどもの遊び・居場所づくり フォーラム

～「ゆめパのじかん」から学ぶ地域の役割～

本市では「遊びに本気宣言！」を掲げ、こどもの創造性と主体性を育む遊び場づくりを進めています。こどもが主役の自由な遊び場を持続させるには、地域の温かい支えが不可欠です。こどもたちがのびのび育つ居場所づくりについて一緒に考えてみませんか。

会場

鶴岡まちなかキネマ
(鶴岡市山王町13-36)

映画「ゆめパのじかん」上映会

日時 10月14日(水) 17:30～19:00 (1回目)
19:30～21:00 (2回目)
各回定員40名(先着順) 受付開始：上映の30分前

10月15日(木) 16:30～18:00 (3回目)
定員70名(先着順) 受付開始：上映の30分前



西野博之氏による講演会

定員70名(先着順)

日時 10月15日(木) 18:30～20:00

開場：18:10

講演会のみご参加の方は、18:00から受付



＜講師紹介＞

認定NPO法人フリースペースたまりば理事長。川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん他、各事業総合アドバイザー。1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年、川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年7月にオープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、その代表を務め、2006年4月より川崎市子ども夢パークの所長に就任。2021年3月までの15年間所長を務めた。神奈川大学非常勤講師。精神保健福祉士。著書に『居場所のちからー生きてるだけですごいんだー』（教育史料出版会）、『西野流「ゆる親」のすすめ<上>7歳までのお守りBOOK～「正しい母さん・父さん」を頑張らない。～』『西野流「ゆる親」のすすめ<下>10歳からの見守りBOOK～だいたいじょうぶのタネをまこう。～』（ジャパンマシニスト社）、『マンガでわかる！学校に行かない子どもが見ている世界』（KADOKAWA）等多数。



川崎市子ども夢パーク

お申込みはこちらから！

【重要】映画鑑賞、講演会ともに無料ですが、
事前申し込みが必要です。



何をしてもいい。何もしなくてもいい。 きみは、きみのままでいい。

いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人に贈る、 生きる力を育む“じかん”

「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。

ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。

家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集めるゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、『さとにきたらええやん』の重江良樹監督。遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけがえのない“じかん”はきっと大人たちにも大切なものを思い起こさせてくれることでしょう。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。



子どもは“好き”を見つけ、“自分らしさ”を表現する 才能があると改めて感じました。

『ゆめパのじかん』では、その才能を最大限に発揮し、大人にはない行動力を爆発させている、子どもたちの輝く瞬間をリアルに映し出しています。周りと同じである必要なんてなく、自分らしさを持つことが大切だということを子どもたちが教えてくれました。年齢問わず、多くの方にこの作品を観ていただきたいです。

――中川翔子（歌手／タレント）

「子どもは自分で考えて決断することができない庇護すべきか弱いイキモノである。だから、我々オトナは彼らを守り、教え、“正しい道”に導かなければならない」。『ゆめパのじかん』を観た後はそんな思い込みがきっと一掃されてしまうだろう。

無気力で勉強嫌いと思われがちな
不登校児のイメージも変わるかもしれない。

――深爪（エッセイスト）

未来はひとりひとりの 手作りの希望からしか生まれない。

――谷川俊太郎（詩人）



「川崎市子ども夢パーク」とは神奈川県川崎市高津区にある子どものための遊び場。2000年に制定された「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに市民参画で作られた。工場跡地を利用した約1万㎡の広大な敷地にはプレーパークエリア、音楽スタジオや創作スペース、ゴロゴロ過ごせる部屋のほか、学校に行っていない子どものための「フリースペースえん」が開設されている。乳幼児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもが利用している。

yumepark.net

こちらのQRコードから
ゆめパのじかん予告編が
視聴できます

